

ここが気になる！ Q & A

Q. ボランティア活動は初めてですが、大丈夫でしょうか？

A. 主体的に活動に取り組む気持ちを持っていれば全く問題ありません。研修もちろんですが、実際に活動していく中で学ぶ機会はたくさんありますので、経験の有無は関係なく活動していただけます。また、お互いに支え合える心強い仲間もいます。

Q. 学生ですが、応募できますか？

A. 応募条件を満たしていれば、もちろん歓迎いたします。ただし、応募時に4年生で卒業後の活動意思がないなど、継続した活動が当初から見込めない場合は、他の方を優先させていただくこともありますのでご了承ください。

2022年度実施 ボランティアワークショップの様子



現役ボランティアさんに聞いてみました！

ボランティア活動をはじめて、何か変化はありましたか？それはどんな変化ですか？

すべてのアート作品に触れるとき、作者と作品のつくられた時代や社会の状況について思いをはせ、考えるようになりました。



千葉ゆかりの作家について知ると、素直に千葉を見直してより好きになりますね。住んでいることに自信が持てます。



活動中、どんな時にやりがいを感じますか？

ギャラリートークのたびに、新しく知識が増えること。調べていくと様々な発見があり、「知らない事を知る喜び」を感じています。作品の背景にある歴史や故事など幅の広い知識に発展するのが嬉しいです。



作品をみる子どもたちの目が輝いている瞬間を見た時。



今までで一番印象に残っている出来事は？

鑑賞リーダーのときに、「1枚の絵で、こんなに色々なことを想像して話ができるんだね。」「みんなで見ると楽しいね。」と言われたこと。



小学4年生の子どもが物陰にあった小さな彫刻作品を見つけた様子。その何とも言えない顔。



千葉市美術館

ボランティアスタッフ募集

第7期
20名



千葉市美術館では、来館者や市民のみなさまと美術館をつなぐため、「美術館を楽しもう！」をあい言葉に、現在38名*のボランティアスタッフが活動しています。小・中学生のグループ鑑賞をサポートする鑑賞リーダー、展示室でのギャラリートーク、ワークショップの企画運営など、活動は多岐にわたります。今回、7期メンバーとして新たに活動に加わってくださる方を募集します。美術館の楽しみ方を積極的に見つけ、それを他の人と分かち合うために自主的に活動できる仲間を歓迎します。

*2023年3月現在の登録者数

主な活動内容

応募時に下記の①もしくは②を選び、どちらかの活動から取り組んでいただきます(各10名程度)。③は任意の参加となります。

1 鑑賞リーダー(鑑賞プログラムのサポート活動)



子どもの自由で豊かな発想には、リーダーがびっくり&脱帽することも!

鑑賞リーダーの役割は、作品と子どもたちとの橋渡しです。おもに、授業の一環で来館する小・中学生を対象に、数人のグループに分かれ、作品を見ながら対話を通して鑑賞を深めるお手伝いをしています。毎年およそ1000人の子どもたちを受け入れており、初めて来館する子どもたちから部活動まで、目的に応じて展示室で過ごす時間をサポートします。

＼こんな方、お待ちしております!／

- ・地域の大人として、子どもたちの教育と成長に積極的に関わりたい。
- ・聞き上手、引き出し上手になりたい。
- ・作品を前に、1つではない答えを子どもたちと一緒に探してみたい。



展示担当学芸員によるレクチャーを受けて準備を進めます。仲間同士での情報交換や勉強会も。

令和2年に常設展示室が新しくオープンし、これまで以上に活動の場が広がりました!

2 ギャラリートーク

展示室で作品の解説・案内を行います。来館者が、展示や作品への興味や関心を深めることができるように、各トークが自分なりの切り口を用意します。ボランティアのギャラリートークでは、専門家による一方的な説明ではなく、話し手自身も1人の鑑賞者として、リラックスした雰囲気の中で聴き手を展示の世界へと誘うホスピタリティを大切にしています。

＼こんな方、お待ちしております!／

- ・興味を持った作品や作家について調べるのが楽しい。
- ・来館者が作品や展示に興味を持ってくれるのがうれしい。

運営サポート活動だけでなく、自身の興味や特技を活かした場を仲間と一緒に作り、ボランティア発案の来館者向けプログラムとして実施することもできます。

その場で生まれる表現との一期一会の出会いが醍醐味です。



3 ワークショップ

子どもから大人まで幅広い年代を対象としたワークショップ(体験型講座)の企画や運営を行います。ボランティア自らによる木版画、銅版画(実技)の勉強会も開催中。参加者とのコミュニケーションやプロセスを大切にしながら、教える・教わるといった関係性や上手・下手といった評価を越えた、クリエイティブな体験の場を共につくっていきます。

＼こんな方、お待ちしております!／

- ・手を動かすのが好き。
- ・参加者との交流を通し、創造性を刺激しあいたい。
- ・相手の表現を尊重することができる。

応募条件

- 1 美術館を日常的に利用している方。
- 2 人と接することが好きな方。
- 3 18歳以上の方(令和5年4月1日現在)。(高校生は不可/千葉県内在住・在勤・在学の方優先)
- 4 下記日程の研修Aに**全て**参加できる方、研修Bに可能な限り参加できる方。(欠席の場合は課題の提出があります)
- 5 登録期間(2年間/以降2年毎に更新可)を通して、ボランティア活動の実践が可能なる方。
- 6 原則として月1回の定例会(原則は土曜日午前に開催)参加できる方。
- 7 上記6 の他、年間2つ以上の展覧会開催期間中に活動できる方。
- 8 メールでの連絡が可能なる方(PC、携帯は問いません)。
- 9 Zoomなどのオンラインミーティングに抵抗がない方。

登録期間

仮登録 2023年11月～2024年3月
本登録 2024年4月～2026年3月

- *仮登録期間中に、現場研修・実習を行います。
- *登録期間終了後は、**本人・美術館双方の合意の上、更新可能です。**

応募方法

お電話で面接日をご予約の上、下記の必要記載事項をA4用紙に記入(記載様式自由)いただき、ご持参ください。

記載事項: 氏名/住所/連絡可能な電話番号/年齢/性別/メールアドレス
希望する活動(①鑑賞リーダーまたは②ギャラリートーク)/志望動機
・受付締切:5月12日(金)17時までにお電話ください。

面接期間:5月13日(土)、17日(水)、19日(金) 10:00～17:00

- ・20分程度の簡単な面接(志望動機や活動条件の確認)を行います。
- ・応募者多数の場合は、まことに申し訳ありませんが、面接の結果を考慮し、選考させていただきます。
- ・結果は5月31日(水)までに郵送で通知、6月4日(日)までに連絡がない場合は、お手数ですがお問い合わせください。

お問い合わせ先 **TEL:043-221-2311(代)** 千葉県美術館 ボランティア募集担当
受付時間:(月)～(金)の10:00～18:00/土日祝は受付時間外となります。

待遇等

- 1 活動にあたっては、「千葉県ボランティア活動補償制度」が適用されます(自己負担なし)。
- 2 交通費・食費等は、ボランティア各自でご負担ください。
- 3 展覧会ごとの勉強会、自主学習会などがあります。

活動日・時間・活動場所

- ・原則として開館日の開館時間内に、千葉県美術館施設内で活動。
- ・館外施設でのワークショップやイベントに参加する場合があります(任意)。

研修について

研修 A (全3回): 基礎研修
(まなびサポーター養成講座/千葉県生涯学習センターにて)

6月13日(火) 10:00～15:00

6月20日(火) 10:00～15:00

6月27日(火) 10:00～15:00

*途中昼休憩あり

研修 B (全6回): 専門研修(千葉県美術館にて)
9月～10月に行います。